

# Care & Communication

ケア&コミュニケーション

C O N T E N T S

P1-2		<b>DOCTOR'S TALK</b>	医療人として補綴臨床を重視し、 真摯に誠実に保険診療に取り組む  中村歯科医院 院長 <b>中村 健太郎 先生</b>
<b>THE FRONT LINE</b>	P3-4		患者の生活の質を大きく左右する 「ドライマウス」を専門に治療  NTT東日本関東病院 歯科口腔外科 勤務 志村デンタルクリニック 副院長 <b>志村 真理子 先生</b>
P5-7		<b>INSIDE REPORT</b>	明確な役割分担と密な連携による ウェブ型チームで充実した歯科医療を提供  医療法人社団 秀鳳会 いまい歯科 理事長 <b>今井 雅一 先生</b>

# 医療人として補綴臨床を重視し、 真摯に誠実に保険診療に取り組む

中村歯科医院 院長 中村 健太郎 先生



中村 健太郎 院長

「基本に忠実」。当たり前のことだが、真摯に取り組もうとすると非常に難しい。

歯科治療の基本である補綴臨床を追求し、情熱を持って修練を重ねる中村健太郎先生。

なぜ今、補綴臨床なのか。その理由をうかがってみた。

## 患者を枯渇させる保険診療の軽視

「患者さんが歯科医師を信頼する瞬間はいつなのか。どんなに白く美しい補綴装置でも、調整なしでジャストフィットしなければ意味がない。ぴったりと、しっかり噛める補綴装置が入ったときこそ、患者さんは『自分の健康を任せられる』と信頼するのです」

昨今の歯科業界は厳しい。経営の不安からか、インプラントや審美などの自費補綴に力を注ぐ歯科医師も少なくない。しかし、果たしてそれが本当の歯科治療のあるべき姿なのだろうか。あまりにも保険診療での補綴治療を軽視しているのではないかと。中村健太郎先生は警鐘を鳴らす。

「自費診療をいかに増やすかといった内容のセミナーや誌面が人気、話題です。しかし、初診の患者さんがまず求めるのは保険診療。最初から自費診療で訪れる患者さんは極めて少ないといってもよいでしょう。ところが、歯科医師は保険診療なんかダメだと考えながら補綴治療を等閑にする。その認識の違いが患者さんの枯渇につながっているのではないのでしょうか」

## 歯科医療の基本は 保険診療の補綴治療

中村先生が、保険診療の補綴治療の重要性を力説し、厳しい意見を言い切れるのも、膨大な時間と莫大な費用を費やして、歯科知識と技術を磨いてきたからだ。歯科大学時代では補綴学を専攻、研鑽。開業後には補綴はもちろん、咬合、ペリオ、エンドから、経営や歯科衛生士のセミナーまで、ありとあらゆる研修会を受講してきた。しかも、受講するだけではない。その教授内容は正しいのか、臨床で活用できるのか、一つひとつ丁寧に検証を繰り返し、問題があった場合にはその原因と解決策を追求した。検証の確認のため、同じセミナーを何度も受講したこともある。

「医師は科学者なのです。自院の臨床の現場で実用できるのかどうか、身をもって検証しなければ、学んだ知識や技術が自分の知識や技術として備わったとはいえないのです」

納得し、理解し、身につくまで修練を積んできたからこそ、中村先生は歯科医療の基本である保険診療の補綴臨床の重要性を痛感しているのである。とくに、模型作製や咬合器装着など、補綴装置の作製において下準備とされる過程をおろそかにすることが補綴装置の精度を低くする原因になっていると指摘する。

## 保険診療の補綴臨床を重視してこそ、 自費診療の増加も可能に

中村先生は「修練会」というスタディグループを主宰している。中村先生を慕った歯科医師たちが自発的に集まったことから派生したグループだ。発足当初は中村歯科医院の待合室が研修室。診療後、週5回は集まり、深夜まで研修は続いたという。

今、中村先生が「修練会」で真っ先に話すことは、歯科医師と

しての心構えだ。その中には、保険診療での補綴臨床の重要性も含まれる。そして、保険診療の補綴治療を誠実に確実に取り組んでこそ、自費診療の拡大につながる。

「私はこんなたとえ話をするんです。高級レストランに行きたいとします。いきなり何万円もするディナーの予約をしますか？高いディナーがものすごく不味かったら困りますよね。外れないためには店の評判をきくだけでなく、ランチがあれば、試食に行くはず。もし、ランチが不味ければ、ディナーの予約はしませんよね。歯科医療も同じ。保険診療の補綴治療は、高級レストランでいうところのランチだと思って“試されている”と気持ちを上げてください」

## 熱意と自立心が 歯科医師を成長させる

もう一つ、欠かせないのが日々の修練であると話す。高級レストランのシェフは客から見えないところで努力を重ね、入念な下準備をするからこそ、客が満足するような一皿を作り上げることができる。歯科医師も患者が満足するような治療がしたいのであれば診療時間外に努力しなければならないはず。診療時間内だけではこと足りない。中村先生の指摘は手厳しい。

「何億円と費っているプロ野球のバッターも4割打者を目指して血のにじむような練習をしている。歯科医師は4割ではダメ。医療であるからこそ、10本中10本成功させて当たり前の10割バッターを目指さなければならない」

しかも、生きた「歯」で修練を重ねなければ、高度な歯科技術は身につかない。中村先生は「言葉は悪いが…」と前置きしながら、保険診療は日々の修練として絶好のチャンスとも話す。

「視点を変えれば、保険診療の患者さんは、自らの「歯」を歯科医師に捧げてくれて、お金も払ってくれる、さらには感謝もしてくれる、有り難い存在なのです。にもかかわらず、なぜ保険治療に真摯に取り組まないのでしょうか」

「修練会」では、歯科医療の基本である保険診療の補綴臨床を基礎から学ぶことを重んずる。問題意識を持って取り組むことが歯科医師としての成長につながると考えているからだ。「修練会」に参加し、意識を変え、たった一つでも何かを身につけた歯科医師は大きく変わるという。また、経営が上向いた歯科医師もたくさんいるという。

「私も通ってきた道ですから、答えを教えたほうが早い。しかし、それでは彼らのためにならない。また、課題に取り組むことで、新しい疑問や可能性が見つかることもある。そして、正しい知識と技術を会得し、いついかなる時も修練すること。それが歯科医師としての未来を切り拓く力になるのです」

「C&C 21号」から、中村健太郎先生による「補綴臨床 Step Up講座」の連載が始まります。ご期待ください。



購入当時、1台1400万円以上した診療ユニット。  
診療室には4台配備されている



開業から15年経った、「病院」をイメージした診療室。開業当時のまま、今も白く美しい



マイクロスコープやレーザー、デジタルレントゲン、オペ室、CTもないシンプルな診療室



通常、歯科医院の技工室では見られない技工器械、器具が数多く揃っている



歯科医技工士が常勤しているが、院内の技工室では最終補綴装置は作製していない



補綴臨床において必須なME機器たち。通常の歯科医院では見られない



中村先生にとって最も大切なもの。  
一台一台に先生の名前が刻まれている

## Profile

### 中村 健太郎 先生

- 1989年 愛知学院大学歯学部卒業、同大歯科補綴学第3講座(冠・橋義歯学)在籍
- 1995年 中村歯科醫院開業 ●スタディグループ名古屋修練会・東京修練会・大阪修練会を主宰 ●愛知学院大学歯科補綴学第3講座非常勤助手 ●日本補綴歯科学会会員・専門医
- 日本顎咬合学会会員 ●JACD会員 ●咬合療法研究会会員 ●筒井塾咬合療法コースインストラクター ●ドイツKaVo本社公認インストラクター ●GC社製DePROS(デンタルプレスケール・オクルーザーシステム)開発・監修 ●GC社製デンタルIQさん開発・監修

### 中村歯科醫院

住所: 愛知県春日井市関田町1-53

TEL: 0568-81-5838 HP: <http://www.shuurenkai.com/> (修練会)



# 患者の生活の質を大きく左右する 「ドライマウス」を専門に治療

NTT東日本関東病院 歯科口腔外科 勤務  
志村デンタルクリニック 副院長

志村 真理子 先生



志村真理子 副院長

唾液の分泌量が減り、口腔内が乾く「ドライマウス」が注目されている。患者の中には、医師や周囲に悩みを分かちてもらえず、精神的に苦しむ人も。ドライマウスの現状と対策について、専門家の志村真理子先生にうかがった。

## 中高年女性の患者が 圧倒的に多いドライマウス

「歯科や医科では異常なしの診断。でも、患者さんには自覚症状がある。それが、ドライマウスの特徴です。来院される患者さんの中には、10軒以上、病院を回っても病気が見つからず、そのストレスで症状が悪化している方がたくさんいます」

最近、女性誌などでも注目度が高まっているドライマウス。

志村真理子先生は90年代末から、ご主人の志村幸洋院長先生と一緒に開業する志村デンタルクリニックと勤務先のNTT東日本関東病院歯科口腔外科で、いち早くドライマウスの治療に取り組んできた。患者の92%は女性、それも50～70代の中高年齢が圧倒的に多い。

ドライマウスの自覚症状は、口の中が乾く、舌や唇がひび割れてひりひりと痛む、唾液がネバネバする、口臭が気になる。食べ物が飲み込みにくい、舌がもつれて話しづらいことがある、の6つだ。原因が口腔内にあるのか、体にあるのか、精神的なものなのか把握しにくく、目に見える症状が口腔内に見られないため、「気のせい」「年だから仕方がない」と片付けられることが多い。しかし、患者は悩みが高じて、鬱状態になることもあるという。

## ドライマウスの診断だけで 安心する患者も

志村先生は、ドライマウスかどうかを調べる場合、唾液の分泌量と舌の表面の乾き具合を診察し、口臭も口臭測定器を使って診断する。ドライマウスの患者の多くが口臭の悩みも抱えているからだ。

「口臭は、舌の汚れからくる硫化水素、菌茎のトラブルからくるメチルメルカプタン、昔、食べた食べ物のにおいなどが回り回って呼気に含まれて排出されるジメチルサルファドの3種類に分けて調べます。ドライマウスの疑いを持って診察すると、確かに唾液の分泌量が減少していますし、口臭もあるのです」

ドライマウスの原因は、加齢やストレス、生活習慣、薬の副作用、自己免疫疾患のシェーグレン症候群など、さまざまだ。

とくに患者数が多い更年期以降の女性は、女性ホルモンの減少や自律神経の乱れで、男性に比べ、唾液の分泌量が急激に低下する傾向がある。

「最近では若い女性で悩む方も増えています。精神的ストレスの影響も大きいので、原因を見つけてあげることで、ストレスが減り、症状が軽減する方がいるくらいなんです」

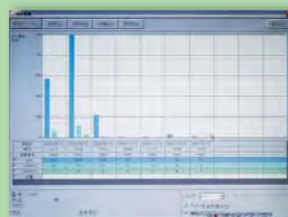
ドライマウスの検査では、唾液量測定他、口臭の検査も行っている

口臭検査に使用する注射キット

結果データや資料を見せながら患者に説明する



口臭測定器で計測した結果データ。  
3種類の口臭が表示される



計測データは時系列で並べられることもできる



志村デンタルクリニックにある口臭測定器



## 唾液の分泌量を増やす 生活指導で症状を改善

ドライマウスの治療は、乾燥を予防し、改善しながら、口腔内の痛みをとることが中心になる。使用するの、口腔ケア用品。最近では、口腔内保湿剤の種類も増えてきた。

- ① 乾いたと感じたら、保湿ジェルや保湿スプレーで舌に潤いを与える
- ② よく噛んで食べる
- ③ リラックスする
- ④ 規則正しい生活をする
- ⑤ 部屋の湿度に気を配る

以上のような口腔ケアを指導すると、多くの患者の症状は改善していくと言う。

「なかなか原因が分からなかったことなどから、強いストレスや精神的な不安を抱える患者さんも多いので、根気よく説明することが大切です。シェーングレン症候群の鑑別も重要で、確定後はドライマウスを管理しながら、内科・眼科との連携も必要です」

## 治療成績を左右することもある ドライマウス

ドライマウスは生死にかかわる症状でないため、軽視されがちだ。しかし、歯科医師や歯科衛生士がドライマウスの存在を念頭におくだけで、治療成績が変わってくることもある。

「治療は終わっているのに、補綴物が合わないとい度も訴えたり、PMTCをしているのに口臭があると訴える場合などは、じつはドライマウスが原因のこともあるのです」

また、最近では介護の口腔ケアや医科の病気の現場でも、ドライマウスを改善する重要性に注目が集まっている。口を潤すことで、咀嚼ができるようになり、栄養状態が改善してくるからだ。そのため、志村先生のセミナーは看護師を対象にしていることが多い。だが、最近では、介護の現場でドライマウスケアの重要性に気づき、



ドライマウス治療に使われる  
口腔ケア用品の数々

セミナーに参加する歯科衛生士も増えてきているという。「患者さんの健康を管理する歯科衛生士さんにごそ、ドライマウスの知識を持って欲しいですね。ドライマウスの存在を知っているだけでも、患者さんの悩みに答える引き出しの数が増えるはず。また、ドライマウスをきっかけに、全身の病気に対する知識も深めて欲しい。たとえば、がんのなかには、口腔の腫瘍を見つけたことで、転移が分かることもあります。歯と歯茎だけでなく、粘膜や舌の状態、患者さんの顔色や表情、動作などを注意深く観察することも、これからの歯科には欠かせません。総合医療の視点を持つことで、患者さんに対するオーラルケアの質は格段に向上すると思います」

### Profile

#### 志村 真理子 先生

- 1988年 昭和大学歯学部卒業。同大歯学部歯内療法学教室入局
- 1995年 志村デンタルクリニック副院長就任 ● 1998年 NTT東日本関東病院歯科口腔外科勤務。同院ドライマウス対策プロジェクトリーダー
- 2003年 志村デンタルクリニックにドライマウス女性専門外来を開設
- ドライマウスネットワーク世話人代表 ● 性と健康を考える女性専門家の会運営委員 ● 女性医療ネットワークメンバー発起人世話人
- 女性の健康と歯周病フォーラム

NTT東日本関東病院 歯科口腔外科(ドライマウス外来 月・火・木)  
住所: 東京都品川区東五反田5-9-22 TEL: 03-3448-6371

#### 志村デンタルクリニック

住所: 東京都港区西新橋1-19-6 桔梗備前ビル 302 TEL: 03-3580-6480

ドライマウス患者の舌



ドライマウス患者の舌



口腔ケア前

口腔ケア後  
ケア終了後は  
保湿剤等で乾燥を防止する

NTT東日本関東病院で入院患者の口腔ケアにあたる志村先生



NTT東日本関東病院のロビー



NTT東日本関東病院に設置されている  
唾液腺の機能を調べる「唾液腺シンチグラフィ」



NTT東日本関東病院の外観



いつも明るい笑顔が魅力的な今井理事長とスタッフのみなさん



診療室との区切りがないオープンな受付



いまい歯科は2階建てビルの2階にある 南国風のインテリアが楽しめる待合室



入り口の外にある「外待合スペース」。診療を終わった患者が一休みできる



## 明確な役割分担と密な連携による ウェブ型チームで 充実した歯科医療を提供

いまい歯科 理事長 今井雅一 先生

千葉県・東葉勝田台駅から徒歩10分ほどの住宅街にあるいまい歯科。効率のよいチーム医療で、きめこまかく患者をフォローしている。スタッフの役割分担や連携の仕方など、独自の体制について、うかがってみた。



今井雅一 理事長



温かな雰囲気の診療室。白い壁はスタッフが力を合わせて塗った

メンテナンス用のチェア



正確な診断には  
欠かせないデジタルCT

## 全員がチームの一員として役割を果たし、連絡をとる

歯科医院には院長を頂点としたトップダウン型の組織が多いが、「いまい歯科」はチーム型組織。スタッフだけでなく、今井雅一理事長もチームの一員として組織を支える。

メンバーは、歯科医師が今井理事長と勤務医の2名、歯科衛生士1名、歯科助手2名、レセプション2名、メディカルディレクター1名、そして、パートナーソリューション部という部署に1名いる。チェアは開業当初の3台から、6台に増えた。

いまい歯科のユニークな点は、役割分担が明確ながら、それぞれが密に連携することで、患者のフォローにもれがないように工夫している点だ。蜘蛛の巣ように網の目を張り巡らせる「ウェブ型チーム医療」とも呼べるかもしれない。

## 中心になるのは、チーフ職の女性スタッフ

では、どのように役割を分担しているのだろうか。まず、患者と密に接する「レセプション・待合室」と「診療室」には、それぞれのチーフがいる。レセプションと待合室を担当し、患者とのコミュニケーションを通して、みんなの笑顔を担う「レセプションチーフ」の山岸未来さん。「フロアチーフ」として診療の進行状況、歯科医師やスタッフの動きをバックアップしているのは歯科衛生士の吉原奈歩さんだ。

吉原さんと山岸さんをまとめるポジションの「プレイングマネージャー」には、加藤智織さんがいる。さらに、ホームページの更新や患者用説明書などの書類作成、新人スタッフの教育などを受け持つのは「パートナーソリューション部」。担当は、以前、フロアチーフを務めていた高橋里江さんだ。

「彼女たちは、自分の担当部署を管理しながら、他の担当部署にも目を配り、何かあれば、すぐに連絡を取り合っています」

たとえば、レセプションや待合室は患者のニーズをいち早くキャッチできる。その情報をレセプションチーフは素早くフロアチーフに伝える。また、診療内容をレセプションチーフも把握し、必要があれば、患者に説明する。フロアチーフは円滑に診療が進んでいるか、予約時間が守られているかなどを考えながら、無理が出ているようであれば、レセプションスタッフと対策を相談する。プレイングマネージャーは、各スタッフの成長度やミッションを理解し、みんながやりがいを持って仕事に向き合えるように後押ししている。

【いまい歯科の組織図】



「全員が自分の仕事はもちろん、チームとしての動きも意識しながら仕事をしています。そして必要があれば、他部署をバックアップします。フォローしあうことでミスを事前にくい止めます。『卵を落とすな』が合言葉です。」

## 若いスタッフたちに働く意味を教えるのも役目

「人は権力では動きません。お金ではもっと動きません。働くことの意味と価値を自分で感じられなければ、意欲的ではいけないと思います。『何のために働くの?』と、いまい歯科ではよく問われます。ひとりひとりのスタッフがその答えを探す旅の途中にいると言えるでしょう」

最近、今井理事長は、スタッフに一通の手紙を送った。いわば理事長からスタッフへの「ラブレター」だ。スタッフは、この手紙を大切に、ときに読み直し、働く励みにしているという。最後に、その手紙を誌面でも紹介しよう。

### 『結果』と『がんばった』との関係性

「結果を出せるといいね。…!？」

結果のみが唯一の重要なもの!？」

僕は違うと思う。

『努力した!一生懸命やった!できるだけ事はした!!』

それはとても大切なこと。

大切だけれども、それってもしかしたら『前提』じゃないかな。

だって、それをやってなかったら『手抜き』になっちゃう。

とすると、『全力を尽くす』事が言わば標準の事であるとしたならば、もし、結果に結びつかなかった時…!？ どう考えたら良いのだろうか？

『結果はNGだけど、精一杯やったから 後悔は無い。!』?

…ホント!？ 何か、収まりが良くない気がする。

『一生懸命やった』のは何かの目的に向けての事だろう。

なのに、その目的がかなわなくても

その『プロセスを辿った』という事で満足していいのだろうか？

後悔せずに 反省し、再構築し、再試行する。

より結果に近づけていく。成功にちがづけていく。

そういう自己改造のプロセスを『成長』と呼ぶんじゃないかな。

もちろん、乗り越えるのは簡単ではないし、痛みを伴うものであろう。

それをなんとかして、乗り越えていくんだ。

そうして、僕たちは乗り越えてきたはず。

本当の『一生懸命』を表現できたらいいね。

それに情熱を傾け、自分らしさを感じ、成長できたらいいね。

それが『使命感を持つての仕事』になったらいいね。

価値と尊厳に満ちた自らのスタイルを創りあげてほしい。

何よりも、自分で『かつこいい』って思える自分であるために。

理想論だけど、せつかくの人生だもん。

理想を目指すのもいいんじゃない？

Masakazu Imai



チーフの皆さん。左から吉原さん、加藤さん、山岸さん



定期的に院内の課題を付箋に書き出し、話し合っている



パートナーソリューション部が制作した患者向けパンフレット



**スタッフの声**

**レセプションチーフ／レセプション  
山岸 未来さん (写真右)**

スタッフの先陣を切って、いまい歯科の顔であるレセプションを守っていくのが私の役目。患者さんの心をくみ取りながら、受付やレセプト作業も円滑に進めるにはどうしたらいいか、つねに考えています。また、フロアとの連携も大切です。患者さんの様子など気づいたことをすぐに伝えたいときは、メモを渡すこともあります。チーフになったばかりの頃は、悩みばかりが先行していました。安心して仕事に打ち込めるようになったのは、院長から「あなたのセンスを信じるから、あなたが思うようにやっごらん。バックアップするよ」と言われたことが、とても大きいです。

**フロアチーフ／歯科衛生士  
吉原 奈歩さん (写真左)**

チーフになって2ヶ月になりスタッフも増えました。仲間が増えたことで視野が広がりました。診療全体をスムーズに進行させなければならないチーフの立場は大変ですが、やりがいも感じています。私たちスタッフの動きが、先生と患者さんの関係に影響することも大きいので、技術面でサポートするだけでなく、治療時間が長引いていないか、患者さんの理解度・納得度が十分か、私からフォローする必要はあるか、といったこ

とも注意しています。また衛生士業務としてはメンテナンスの患者さんはすべて私の担当です。治療の終わった患者さんにより良い状態を保って頂くことに気を配っています。なぜなら、私は「菌の守護天使」だから。

**プレイングマネージャー／メディカルディレクター  
加藤 智織さん (写真中)**

レセプションや待合室、フロアもすべてを見て、2人のチーフのバックアップをすることがプレイングマネージャーの役割です。いまい歯科全体を見渡しなが、歯科診療に関わるすべてを見ていくのが、私の仕事と言えると思います。院内に対してはフロアで先生やスタッフの動きを常に意識して、患者さんの気持ちをほぐしたり、潤滑油のような役目を果たしています。時には熱心さのあまり、暴走する院長(笑)に苦言を呈することもあります。

でもそんなスタッフの意見にも、しっかりと耳を傾けて下さるので、さらにやる気が出ます。いまい歯科においては「責任をもつのがスタッフの仕事・責任をとるのがボスの仕事」なのです。またメディカルディレクターとしては「いまい歯科のコンシェルジュ」であることが大きな役割です。初診時のカウンセリングに始まり、歯科医師の立案した治療計画を患者さんに説明をして、相談をしながら「その患者さんにとって最適な治療プラン」を創り出すことには、大きなやりがいを感じます。

**Profile**

**今井 雅一 先生**

- 1987年 日本大学歯学部卒業。
- 1992年 いまい歯科開院
- 1993年 医療法人社団秀鳳会設立

医療法人社団 秀鳳会 いまい歯科  
住所:千葉県八千代市村上1741-4 TEL:047-482-6474  
HP: <http://www.imai-dental-office.com>



**SASAKI**

お問い合わせ・ご意見:『C&C』事務局 細谷俊寛

FAX 0120-566-052 <http://www.sasaki-kk.co.jp>

Vol.20 December 2009 発行:ササキ株式会社 東京都文京区本郷3-26-4 ササキビル4F

●本誌に記載された個人の氏名・住所・電話番号等の個人情報の悪用を禁じます。●本誌の記事・写真・図版等を無断で転載・複製することを禁じます。